

ガーナでそろばんプロジェクト 126 号(2025 年 9 月 30 日)

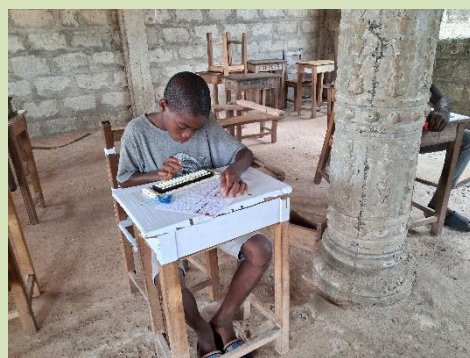
★★ そろばんはセンスでなく努力と練習量 ★★

9 月に入り、新年度の新学期が始まりました。小雨期も終わりに近づき首都アクラではほぼ毎日どこかで短時間ではあるけれど雨雲から絞り出したような雨が降っています。アクラから 160 キロ離れたアフィフェ村もほぼ毎日のように雨が降っていたと聞きました。小雨期が終わると再び暑い季節がやって来ます。

今月は土曜日のそろばん教室を 1 回開室することが出来ました。前号でお伝えしたように、土曜日は、ストリートに国境に行く乗り合いバスはなかなか定員にならないため、小まめに乗降客で停車する乗り合いバスを使う事にしました。その甲斐あって、その 1 回のそろばん教室も学校に早く着くことが出来たのです。ついた時刻は 9 時 20 分、この時間なら 2 時間の練習が出来るけれど、こんな早い時間に来ている生徒はいないだろうと思い、生徒が来るまで、その週に使った裁縫セットである針山の縫い針とまち針の整理を教室でしながら待とうと思っていたら、生徒が二人教室で待っていたのです。待つていてくれたことは嬉しいのですが、針山をゆつくりと整理できないなというもどかしさが生まれました。待つていてくれた生徒二人、そして後から来た生徒三人を合わせて計五人の登室となりました。ほぼ二か月ぶりのそろばん教室、二か月前に乗算のやり方を指導したサビナに今回、除算のやり方を指導しました。二か月前に乗算を指導した時に九九を暗記するように言っていたはずなのに、彼女は暗記していませんでした。暗記をしていなかった事への苛立ち、また他の子どもは、五珠の動きの理解がなかなか出来ず、何回も間違えるから、答えを記入する欄はもう書ききれなくなり問題部分にも答えを記入するので、指導すると問題の数字が分からず、それに苛立つてしまいました。こうした苛立ちはどうして生まれるのだろうと考えたら、そこには「いい加減に覚えてよ」の気持ちがあるのです。出来る出来ないの基準が、かつてそろばん教室に通って、大学進学やフランス留学に行った子どもたちの努力が基準となってしまうているのです。そろばんで計

算できるようになるまでそれぞれなのに。そろばんでの計算が出来る出来ないはセンスなのかな？そう思ってもしまいました。センスでなく練習あるのみ、それを実現させていきたいと思います。

報告 TOSHIKO



子どもの学びのサポートに心より感謝いたします。

協賛



トモエそろばん様